

CONTENTS

① 地区ガバナーメッセージ

③ ローター青少年指導者育成
プログラム(RYLA)報告

④ 第6グループIM報告

⑤ 第3・第4・第5グループIM報告

⑥ 地区だより

⑦ 地区だより・玉島RC活動報告

⑧ 出席報告



人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリーテーマ

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

2016-17年度
地区ガバナー
庄司 尚史



「青少年奉仕月間」に因んで

庄司 尚史

2016-17年度 第2690地区ガバナー
Naofumi Shoji

2016-17年度もあと2か月となりました。クラブでは次年度に向けて、PETS、地区研修協議会を終え、いよいよ事業計画の検討に入る頃だと思います。会長エレクトは当然ですが、次年度クラブ役員の皆さんは大変重要な準備期間になります。今月には、次期会員増強・ロータリー財団合同セミナーが開催されます。このセミナーでアイデアを見出し、増強のスタートダッシュをお勧めします。

さて5月は「青少年奉仕月間」です。青少年奉仕は2010年の規定審議会で新世代奉仕として5番目の奉仕部門となり、2013年の規定審議会で青少年奉仕と改称されました。5大奉仕の最後ですが、国際ロータリーの常設プログラムをみると、ロータリー地域社会共同体(RCC)以外はすべて

青少年奉仕活動です。インターアクト、ロータリーアクト、青少年交換、青少年指導者育成(RYLA)、世界平和フェローと歴史と伝統のあるプログラムばかりです。日本はさらに米山記念奨学会で留学生の支援をしています。歴史を振り返ると、1923年の関東大震災に対する海外ロータリーからの義捐金で、東京ロータリークラブは「Rotary Home」という孤児院を建設していますし、1947年、ポール・ハリスの逝去に対する追悼の寄付で、「高等教育のための奨学金」プログラムが出来ています。近年では2011年の東日本大震災に寄せられたロータリーの義捐金で「希望の風」プロジェクトが立ち上がり、親を失った高校生の大学進学支援を行っています。このようにロータリーは青少年に対し様々な支援をして

いますし、地区内のクラブを見渡せば、サッカー、バレーボール、野球などスポーツ支援、あるいは児童養護施設への支援など地域に根差した青少年支援を展開されています。

2690地区では今年度4人の青少年交換学生を迎え、アウトバウンドとして同数アメリカに送っています。インバウンドの学生はそれぞれのクラブ、ホストファミリーのお世話で日本の理解を深めています。インターアクト、ローターアクトの提唱クラブは継続のプログラムで大変でしょうが引き続きお世話をよろしく願います。米山奨学生は4月からの新学期から約30名の留学生を地区内

でお世話していただいています。彼らが立派に成長し世界の親善、平和に寄与してくれると願っています。

国際ロータリー日本青少年交換委員会(RIJYEC)主催の日本青少年交換研究会が5月13、14日、米子市において2690地区がホストとして開催されます。全国から約300名のロータリアン、インバウンド、アウトバウンドの学生、ROTEXが参加します。2690地区での開催は初めてであり、しかも日本海側ということもあり参加者の期待を集めています。しっかりおもてなしをして有意義な研究会にしたいと考えています。

米山梅吉記念館便り

米山梅吉の横顔 ——— シリーズ [9]

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



青山学院緑岡初等学校正門と校舎



記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の跫音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町土土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

〔開館時間〕 午前10時～午後4時

〔休館日〕 月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



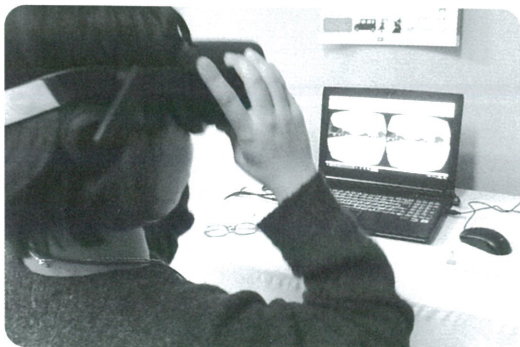
青少年奉仕委員会より ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)報告

日 時：2017年3月19日(日) 11:00~15:30
会 場：しおさい会館



●参加者

参加者15名 ご来賓1名 講師2名
ロータリアン10名



●日程

地区ガバナーあいさつ
講師紹介挨拶

地区役員紹介
オリエンテーション
水木しげるロード視察

水木しげるロードの成り立ち展開 課 長 灘 英樹
リニューアル計画の水木しげるロード バーチャル映像視聴

意見発表と質疑応答

休 憩

個人発表本プログラムの感想記入

総 評

修了証書授与(代表者のみ)

受講生代表謝辞

閉会・解散

地区ガバナー 庄司 尚史
境港市 水木しげるロードリニュアル推進課
課 長 灘 英樹
主 事 木下 雄一
青少年奉仕委員長 渡辺 昇
青少年奉仕委員長 渡辺 昇

地区ガバナー 庄司 尚史
地区ガバナー 庄司 尚史

●内容

各ロータリーよりご推薦いただきました10名と地元の参加者5名が、地域の活性化の手法を境港市の実例を参考に、現場の視察、境港市 灘英樹課長の講義を通じて先人の努力を3つの分野に分けその有効性をわかりやすく説明し、なぜ今リニューアルするのか、最先端技術を取り入れたバーチャル映像でのシュミレーションを通じて現状の問題点の解決、一方通行による歩道の拡など、地元民との要望解決を通じて初めて実行できる現実を知り、これらを解決してゆくことが大切であることを学んだ。また、質疑応答では、若者ならではのポイントをついた質問が出され、実行行政としても参考となる点が多く発見され、参加者全員が有意義な時間を過ごすことができた。

以 上



第6グループIM報告

第6グループガバナー補佐

西村 誠 (新見ロータリークラブ)



2016-2017年度、国際ロータリー第2690地区、第6グループのIMは、平成29年2月18日(土)、新見市内の「まなび広場」と「新見商工会議所」で8クラブ全員登録のもと、ホストクラブ、新見ロータリークラブにより開催されました。

庄司ガバナー、岡空地区代表幹事、国定次期ガバナー補佐をお招きし、西村ガバナー補佐の点鐘により始まりました。国際ロータリーのテーマ「人類に奉仕するロータリー」、地区のスローガン「地域のため 世界のため」に倣い「わがグローバル」と題して、I部では、社会福祉事業に一生をささげた新見市哲多町出身の山室軍平を取り上げ、その業績を広めておられる青木先生の講演と元教員の杉原先生作の紙芝居を視聴いただきました。II部では、カンボジアから岡山県共生高校に留学し、現在、日本で看護師をしているマオティアリさんの留学生としての体験談、渡辺和子さんの名言「置かれた場所で咲きなさい」を引用して締めくくられました。また、長年カンボジア支援をされている高梁クラブの生島さんの活動報告をお聞きしました。一人のロータリアンの発想ではじまり、訪問も20回を迎えたとのこと、浄水事業、教育支援、里親支援が続いているとのことでした。

学びの後は、会場を移動して頂き、新見のA級グルメを食していただきました。新見公立短期大学の八尋先生には駄菓子屋を開店して場を盛り上げていただきました。インターアクトクラブ、新見公立大学の学生さんにお手伝いを頂き、わずか23名のクラブが全力で運営させていただきました。また、絆が深まったIMではなかったかと思います。すべてのロータリアンのご協力に感謝し、報告とさせていただきます。





第3・第4・第5グループIM報告

第3グループガバナー補佐

石倉 貞昭 (松江しんじ湖ロータリークラブ)



2017年2月18日(日)松江市のホテル一畑にて
島根県全域をカバーする第3・第4・第5グループ合同
Intercity Meetingを開催しました。

今年度は第3グループが当番を承り、ホストクラブの
松江南RCさんには早くから実行委員会を立ち上げ準備
を進めて頂きました。

当日は庄司尚史ガバナー、松本祐二パストガバナー
の臨席を頂き、521名の登録と303名のロータリアン
の参加を頂きました。

IMのテーマは「ロータリアンのコミュニケーション力の
向上」としました。これは、今日の社会では人と人が
直接、接し合うコミュニケーションの原点がおろそか
になって来ている現実に鑑み、コミュニケーション力を
高める事がロータリーの活動は勿論、家庭や職場
においても大切ではなかろうか、との思いから選定し
ました。

講師には認定NPO法人あしづえ理事長 そのやまつくし 園山土筆

氏(劇団主宰)の講演「コミュニケーション力の壁」と、
同副理事長 ありた みゆき 有田美由樹氏による「コミュニケーション
ゲームを楽しみましょう」を行いました。

コミュニケーションゲームでは庄司ガバナーをはじめ
ロータリアンの皆さんにも全員参加して頂き、楽し
く和やかな雰囲気のなか行われました。皆さんにテーマ
の一端を体得してもらえたのでは、と感じております。

続いて行われた懇親会は、松本パストガバナーの
乾杯で始まり、園山、有田両講師にも参加頂き大いに
盛り上がり、親睦の輪が確実に広がりIMの目的が
達成された一日となりました。

最後になりましたが、ホストクラブの松江南RCさん
には厳しい予算の中、工夫を凝らして頂き成功裡に
終える事が出来ました。深く感謝申し上げます。

そして、第4グループ渡部ガバナー補佐様、第5グル
ープ須藤ガバナー補佐様ご協力ありがとうございました。

第5回 諮問委員会 報告

日 時：2017年3月4日(土) 11:00~12:00
会 場：倉敷アイビースクエア コーラル

- 〈報告事項〉 ①アーチ・クランフ・ソサエティ認証表彰の件 ②意義ある業績賞の件
③ロータリーゾーン再編成の件 ④アトランタ国際大会 日本人親善朝食会、地区ナイトの件
⑤行事予定について ⑥その他 (地区パストガバナー会規約について)
⑦地区ロータリー財団事務所より ⑧池上 正 地区ガバナーエレクト事務所より
《次回開催日の確認》2017年6月18日(日)12:00~14:45 米子全日空ホテル

地区だより

2017年3月

新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・フェロー



恒久基金大口寄付者 ベネファクター



クラブ年次寄付

出雲南RC	862.07ドル (45周年記念寄付)	岡山RC	1,387.93ドル(ミリオンダラーミール)
笠岡東RC	196.55ドル(ミリオンダラーミール)	笠岡RC	204.83ドル(ミリオンダラーミール)
新見RC	100ドル(ミリオンダラーミール)	笠岡RC	2,155.17ドル(創立60周年記念事業)
倉敷南RC	58ドル(1ドル寄付)		
赤磐RC	762.88ドル (ミリオンダラーミール、新会員寄付、財団BOX、財団月間寄付)		

メモリアル・コントリビューター

松江しんじ湖RC
.....長谷川 逸子 が ご主人 長谷川 行信のために

クラブ使途指定寄付(ポリオ・プラス)

出雲中央RC	606.90ドル
出雲南RC	862.07ドル
倉敷水島RC	698.36ドル (ロータリー財団100周年記念に因んで)
赤磐RC	64.66ドル
岡山備南RC	431.03ドル

年次寄付にご寄付をいただいた方々

境 港 RC 庄司 尚史
米 子 東 RC 細田 耕治、松村 幸男、西村 偉、中村 剛士、小林 慎一、高橋 孝之
笠 岡 RC 山本 直樹
総 社 RC 石原 浩二、宮下 浩明
倉 敷 南 RC 安藤 雅弘、菊本 憲文
倉敷水島 RC 太田 博朗
津 山 RC 井上 治、川上 昌俊、神崎 信輔、菅田 茂、笹井 茂樹、治郎丸 清志、須江 英典、中島 壮太、長谷川 隆嗣、馬場 茂、福岡 正城、福原 徹、光岡 明弘、森 高正、森田 睦、山田 英生、吉田 縉史、梶岡 秀成、鶴崎 実、廣田 裕、杉本 邦夫
津 山 西 RC 太田 洋一
岡 山 東 RC 阿部 英夫、安藤 究真、藤岡 千秋、糸島 達也、三好 和宏、仁恭 恭一郎、菅野 正則、高藤 祐嗣、高橋 憲志、辻 和英、和氣 伸吉、米田 弥寿雄、土井 雅人、石原 彰二、伊東 京亮、木村 旭、近藤 典博、富岡 正機、山本 督憲、吉野 夏己
岡山中央 RC 江原 芳男
岡山岡南 RC 三宅 雅宣
岡山西南 RC 福島 孝彦、伏見 正、長谷川 雅三、弘本 祥昭、廣田 康孝、堀 敬夫、小林 和義、黒岩 晃一、桑原 洋、松下 典裕、田中英樹、内山 一三、上田 泰輔、和田 治郎、油谷 直幸

● 米山記念奨学会への寄付 ●

米山功労者



川居 亘
鳥取中央RC



森原 強
鳥取中央RC



森本 雅義
鳥取中央RC



大佐古 弘之
鳥取中央RC



岩崎 浩
米子東RC



山田 隆三
出雲南RC



藤田 常夫
高梁RC

米山功労者 メジャードナー



益尾 忠蔵
米子RC

クラブ普通寄付

松江RC.....172,500円

クラブ特別寄付

笠岡RC..... 250,000円(創立60周年記念事業)

笠岡東RC..... 24,000円(米山ランチ)

特別寄付をいただいた方々

鳥取中央 RC 安倍 幸伸、荒田潤之介、藤田 泰央、浜田 重喜、平田 奏一郎、楮原 弘文、亀井 長、岸野 優、駒井 重忠、熊田 一隆、松下 光昭、道田 章仁、森下 和人、村上 泰亮、中川 琢三、中尾 修治郎、西垣 藤雄、西垣 佳則、小椋 智好、坂本 治、佐々木 知啓、田中 清、谷岡 浩、上原 武、植田 史郎、宇野 次典、若松 道明、山本 哲己、横山 秀樹、吉田 修

米子東 RC 木田 洋一、小林 慎一、松村 幸男、西村 偉、佐田山 有史、中村 剛士、細田 耕治、高橋 孝之

倉敷水島 RC 藤井 重信、藤井 精司、神原 彰仁、河村 進、近藤 修六、小山 恭男、桑田 育郎、宮原 一夫、松浦 利行、三宅 孝一、三宅 幸治、中川 純一、近藤 幸二、近藤 研二、中田 利幸、西本 克寛、小野 文彦、阪本 均、笹山 悦郎、瀧澤 正、辻 俊彦、平井 清一

岡山岡南 RC 三宅 雅宣

玉島RC活動報告

「3.11を振り返る炊き出し」
チャリティを行いました。



昨年度、玉島RCはクラブ創立50周年の記念事業で倉敷市の公園へ防災ベンチを寄贈しました。その防災ベンチを利用し地域の防災意識を高めようという思いと、「地域のため、世界のため」という庄司ガバナーの地区スローガンを胸に、チャリティを行いました。

3月12日(日)開催の地域のイベント、「備中玉島湊朝市」に併せて、東日本震災を忘れない!という気持ちで「3.11を振り返る炊き出し」の名目で炊き出しと募金活動を行い、皆さんの気持ちのこもった募金 36,758円を震災の復興と支援に役立ててもらおうと、香西会長、片山広報委員長、小野副会長、中原幹事とともに山陽新聞社へ寄託し受理していただきました。

先月号の
追記・訂正とお詫び

4月号(vol.10) P5で
「第2回 指定委員会報告」となっておりましたが
正しくは「第2回 指名委員会報告」でした。
訂正してお詫び申し上げます。

出席報告 (2017年3月)

クラブ名		Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数			
					7月1日	3月末	女性会員	増減
第1グループ	智 頭	84.85	72.73	4	10	9	0	-1
	倉 吉	91.04	76.42	4	59	55	2	-4
	倉吉中央	82.40	72.80	5	24	25	2	1
	倉 吉 東	91.12	66.27	4	45	46	4	1
	鳥 取	99.57	77.06	4	59	61	3	2
	鳥取中央	76.92	76.07	3	40	41	0	1
	鳥 取 北	85.47	79.65	4	50	50	5	0
	鳥 取 西	92.79	77.40	4	49	53	1	4
	計(8)	88.02	74.80	—	336	341	17	5
第2グループ	境 港	84.80	71.08	4	51	48	1	-3
	米 子	76.47	54.04	4	68	69	3	1
	米子中央	82.93	79.62	5	35	32	2	-3
	米 子 東	76.72	65.01	4	100	102	8	2
	米 子 南	88.14	72.88	3	61	63	4	2
	計(5)	81.81	68.53	—	315	314	18	-1
第3グループ	松 江	91.76	74.00	4	66	69	0	3
	松 江 東	94.44	85.28	4	62	61	1	-1
	松 江 南	90.21	79.79	3	66	63	5	-3
	松江しんじ湖	93.46	71.24	3	53	52	9	-1
	隠岐西郷	80.68	61.36	4	23	21	0	-2
	計(5)	90.11	74.34	—	270	266	15	-4
第4グループ	平 田	85.59	83.05	3	44	43	2	-1
	出 雲	76.30	65.93	3	50	49	3	-1
	出雲中央	83.46	77.95	3	44	44	4	0
	出 雲 南	96.48	78.91	4	64	64	6	0
	大 社	49.39	48.57	5	52	54	4	2
	計(5)	78.25	70.88	—	254	254	19	0
第5グループ	江 津	71.43	68.13	5	37	35	2	-2
	浜 田	87.14	76.56	4	56	55	1	-1
	益 田	90.72	81.44	5	18	19	2	1
	益 田 西	85.34	63.79	5	26	23	2	-3
	大 田	81.25	73.21	4	31	28	4	-3
	計(5)	83.18	72.63	—	168	160	11	-8
第6グループ	井 原	78.38	69.19	5	40	42	2	2
	笠 岡	98.16	91.93	4	46	45	0	-1
	笠岡東	93.29	81.71	4	40	41	1	1
	新 見	78.26	73.91	4	23	23	2	0
	総 社	81.67	75.63	4	31	33	7	2
	総社吉備路	86.29	83.87	4	31	32	1	1
	高 梁	85.78	77.45	5	39	41	0	2
	玉 島	95.83	82.29	4	26	26	1	0
計(8)	87.21	79.50	—	276	283	14	7	

クラブ名		Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数			
					7月1日	3月末	女性数	増減
第7グループ	児 島	86.08	77.22	3	29	28	1	-1
	児 島 東	92.16	86.27	3	16	17	0	1
	倉 敷	99.07	75.93	4	87	86	1	-1
	倉敷中央	85.37	87.18	3	13	15	7	2
	倉 敷 東	100.00	91.67	3	43	41	3	-2
	倉 敷 南	90.63	71.92	5	53	55	3	2
	倉敷水島	95.24	90.48	4	22	24	0	2
	倉敷瀬戸内	83.76	80.87	3	37	39	3	2
	計(8)	91.54	82.69	—	300	305	18	5
第8グループ	真 庭	93.55	78.23	4	35	33	0	-2
	美 作	88.98	88.98	4	31	30	1	-1
	津 山	72.30	70.66	5	86	86	3	0
	津山中央	80.26	80.26	3	26	26	2	0
	津 山 西	79.31	75.86	4	31	33	7	2
	計(5)	82.88	78.80	—	209	208	13	-1
第9グループ	赤 磐	72.73	53.13	3	12	12	0	0
	備 前	72.81	55.56	4	58	57	7	-1
	岡 山	92.79	73.43	5	105	110	1	5
	岡 山 東	95.93	81.64	4	97	93	0	-4
	岡山北西	89.57	71.60	3	54	55	3	1
	岡山後楽園	76.89	66.98	4	53	53	0	0
	計(6)	83.45	67.06	—	379	380	11	1
第10グループ	岡山旭川	66.36	63.55	4	27	27	3	0
	岡山中央	80.00	64.38	5	33	37	2	4
	岡 山 北	82.39	72.16	4	41	44	1	3
	岡 山 南	80.75	67.35	4	158	170	19	12
	玉 野	89.71	81.71	5	35	35	0	0
	計(5)	79.84	69.83	—	294	313	25	19
第11グループ	岡山備南	86.73	80.00	4	32	33	2	1
	岡 山 城	88.00	78.00	4	25	25	1	0
	岡山岡南	73.96	62.64	4	24	25	2	1
	岡山丸の内	71.25	59.38	4	38	41	2	3
	岡 山 西	81.13	73.58	3	71	72	5	1
	岡山西南	88.56	75.00	4	53	53	3	0
	計(6)	81.60	71.43	—	243	249	15	6

地区
クラブ内の
状況

ク ラ ブ 数	66RC
2016年7月1日 会員数	3,044 名
2017年3月末日 会員数	3,072 名
内 女性会員数	176 名
純 増	29 名
3 月 出 席 率	Make-up 後 84.35%
	ホームクラブ 73.68%



人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリーテーマ

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

2016-17年度 地区ガバナー
庄司 尚史



〒684-0033 境港市上道町 3147

TEL(0859)44-2690 FAX(0859)44-2650

E-mail: shoji-2690@tiara.ocn.ne.jp